

SANGO MAP CARAVAN!

We want to see how beautiful coral reef is after 10 years.

サンゴマップ・キャラバン 2018 旅のレポート!

国際サンゴ礁である 2018 年の 9 月、九州～沖縄でサンゴを調査しながら旅をする「サンゴマップ・キャラバン」が行なわれました。海辺を旅しながらサンゴ礁の調査を行なったほか、サンゴマップの普及、多くの人たちや自然との出会い、食べ物や温泉など、大地の恵みとの出会いもありました。このニュースレターでは、キャラバンの様子を写真ダイジェストでご紹介します!

九州セクション (9/3～9/13) 熊本～鹿児島



キャンピングカーで、福岡から出発!



サンゴ調査は上天草の野釜島からスタート。サンゴは……ない……とはいっても、サンゴがあるかないかの境界線になりそうあたりから調査を始めたので、一応、想定範囲内です。



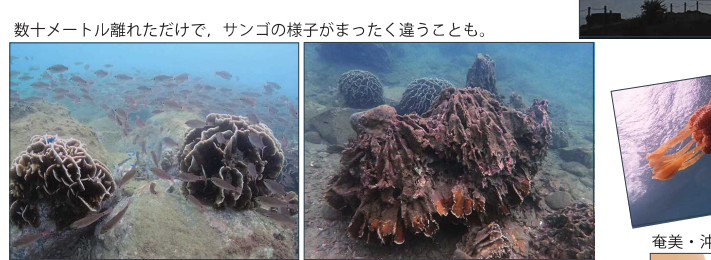
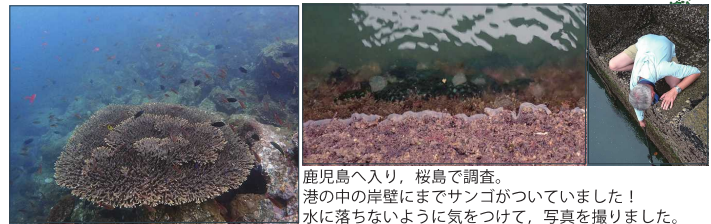
結乃里ではワークショップを行ないました。



天草市の立海岸には、サンゴがありました! びっくり!



地元の魚やお酒も堪能しながら、キャラバンは牛深、長島、水俣へと進みます。



●…サンゴ調査地
●…温泉調査(?)地

製塩工場跡から吹き出す湯気の向こうに、開聞岳。温泉もありました!

鹿児島へ入り、桜島で調査。港の中の岸壁にまでサンゴがついていました! 水に落ちないように気をつけて、写真を撮りました。

いおワールドかごしま水族館でワークショップを行ないました。

鹿児島大学チームと合同で、薩摩半島の垣瀬浜、大当海岸などを調査。「海の池」には、神々しいとしかいいようのない光景が……!

数十メートル離れただけで、サンゴの様子がまったく違うことも。

阿久根市の大川島海水浴場で、九州セクションの調査は終了!

奄美・沖縄セクションへバトンタッチ!

熊本を経て、福岡から一路東京へ……

奄美・沖縄セクション (9/14～9/25) 奄美～八重山～沖縄本島



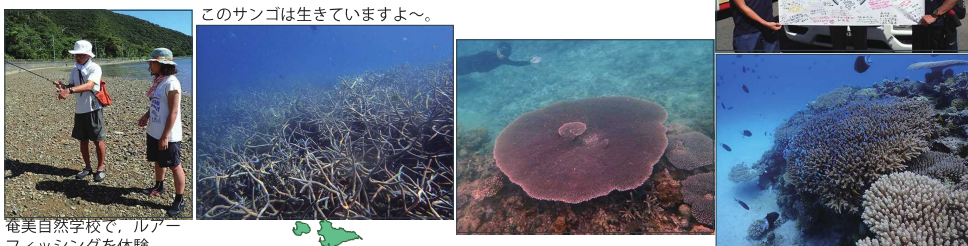
奄美・沖縄編は、奄美大島の倉崎海岸からスタート！
地元ラジオへ出演したり、新聞の取材を受けてサンゴマップ・キャラバンを記事にしてもらったりしました。



大浜海岸、国直海岸などを調査し、現地の方々にお話をうかがい、交流しました。
サンゴの死滅した場所がある一方、ここ4～5年でサンゴが成長してきた場所もありました。
1回観れば終わりというわけではなく、継続的に調査をすることが大事ですね。



加計呂麻島へホップ！
奄美市の職員さんも一緒に調査を行いました。



このサンゴは生きていますよ～。

奄美自然学校で、ルアーフィッシングを体験。

お次は、与論島へホップ！



MARINE & BAR LOOPにて、サンゴバーを開催しました。

サンゴに優しい日焼け止めや与論島のゴミ拾い箱の話と共有し、豊かな自然を維持できる持続可能な観光のあり方について、語りあいました。



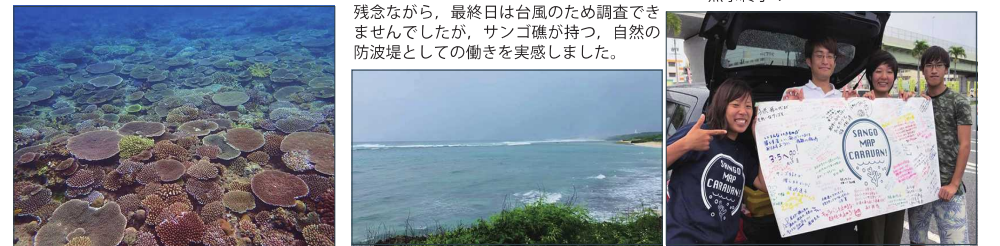
さあ、今度は沖縄本島を経て、八重山諸島へ大きくホップ！



西表島ではサバニで移動しました！



サンゴマップ・キャラバン全旅程、無事終了！



残念ながら、最終日は台風のため調査できませんでしたが、サンゴ礁を持つ、自然の防波堤としての働きを実感しました。

サンゴマップって？ みんなで参加しよう！

日本のどこにどのくらいのサンゴがいるのか、サンゴはいつ産卵するのか、どんな環境で白化するのか、基本的なことはまだまだよくわかっていません。
環境の変化に敏感に反応するといわれているサンゴの現状を、沖縄だけでなく、本州や四国を含めて日本全国で調べて、マッピングをすることは、貴重な情報となります。
「サンゴマップ」は、海を愛する市民の手で、日本全国のサンゴの状況を明らかにしようという活動です。みなさんもぜひご協力ください！

サンゴマップへの参加のしかた

ダイビング、シュノーケリングや磯歩きなど、海で遊ぶときに見たサンゴの情報で、誰でも参加できます！
詳しい観察・記録のしかたは、サンゴマップのwebサイトをのぞってください。
観察に便利な記録用紙も用意してあります。

サンゴが分布する環境を明らかにするためには、サンゴがない場所の情報もサンゴがいる場所の情報と同じくらい大事です。「サンゴが死んでしまっている」「サンゴがない」「海藻ばかり」といった情報も、ぜひお寄せ下さい。



サンゴマップについての詳しい情報、サンゴ情報の投稿はこちらへ→

<https://www.sangomap.jp>

